

一般財団法人 共立国際交流奨学財団
2024(令和 6)年度事業報告書
(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

■寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金(使途不特定、但し一部は(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金指定)・ヤングスチール株式会社からの寄附金(ヤングスチール(株)奨学金指定)・個人 1 名からの寄附金(現地支給奨学金指定)を受け入れました。

■会議の開催

開催日	会議名	議題	出席者
2024 年 6 月 7 日	第 38 回理事会	第 1 号議案 令和 5 年度事業報告 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告 第 3 号議案 令和 5 年度公益目的支出 計画実施報告 第 4 号議案 選考委員会委員選出 第 5 号議案 評議員選定委員の選任 第 6 号議案 評議員候補者の推薦 第 7 号議案 評議員会の招集	理事 7 名 監事 2 名
2024 年 6 月 21 日	第 32 回評議員会	第 1 号議案 令和 5 年度事業報告 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告 第 3 号議案 令和 5 年度公益目的支出 計画実施報告 第 4 号議案 理事及び監事の選任 第 5 号議案 役員定例報酬額の決定 第 6 号議案 評議員候補者の推薦	評議員 7 名 理事長
	第 9 回評議員 選定委員会	第 1 号議案 評議員の選任	委員 5 名 理事長
	第 39 回理事会	第 1 号議案 理事長選定 第 2 号議案 常務理事選定	理事 6 名 監事 2 名
2025 年 3 月 10 日	第 40 回理事会	第 1 号議案 令和 7 年度事業計画 第 2 号議案 令和 7 年度収支予算 第 3 号議案 令和 7 年度奨学生選考 第 4 号議案 評議員会の招集	理事 7 名 監事 2 名
2025 年 3 月 26 日	第 33 回評議員会	第 1 号議案 令和 7 年度事業計画 第 2 号議案 令和 7 年度収支予算	評議員 6 名 理事長

■内部統制の整備

(「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 90 条第 4 項第 5 号及び同法施行規則第 14 条に規定する体制の整備)

決定及び決議は特にありません。

II. 奨学金支給事業(継続事業1)

■留学生奨学金の支給

アジア国籍を持つ私費留学生を対象に日本での生活・学習を支援するための奨学金を 1 年間支給しました。

奨学金名	金額	人数
一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金	月額 100,000 円	25 名
株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金	月額 60,000 円	30 名
ヤングスチール株式会社奨学金	月額 60,000 円	2 名

■現地支給奨学金の支給

ベトナム・ミャンマー・カンボジア・ラオスの各国で、日本への留学を目指して日本語を学んでいる学生への学習支援を目的として寄付を募り、給付いただいた方の指定する名称の奨学金を支給しました。(年額 15,000 円)

奨学金名	寄付者名	支給国・人数			
		バトナム	ミャンマー	カンボジア	ラオス
たくみ奨学金	上田卓味 様	1 名			
KANAMACHI 奨学金	匿名希望		1 名	1 名	1 名
椛奨学金	匿名希望	1 名	1 名		1 名
RHEE 奨学金	匿名希望	1 名	1 名	1 名	
GOTOH 奨学金	匿名希望	1 名			1 名
支度屋奨学金	平石拓也 様				1 名
グローバルチアアップ奨学金	高木祐子 様		1 名	1 名	

■第 32 回奨学金選考委員会の開催(2025 年 2 月 21 日)

奨学金対象校から推薦のあった応募者 374 名について、選考委員 4 名による審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金 25 名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 30 名、ヤングスチール(株)奨学金 2 名の合計 57 名を 2025 年度奨学生候補者として選考しました。。

Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業(継続事業2)

■出版物の発行

各種出版物を発行し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに無償配布しました。

発行日	出版物名	部数
2024 年 5 月 7 日	情報誌「アジア文流」Vol.55	600 部
2024 年 7 月 17 日	財団紹介パンフレット「紹介・情報案内」Vol.31	1200 部
2024 年 11 月 13 日	情報誌「アジア文流」Vol.56	550 部
2025 年 3 月 12 日	留学生のための就職情報誌「共立・桜」Vol.25	1500 部
2025 年 3 月 17 日	留学生のための日本生活案内「留学生生活手帳」第 12 版	1700 部

■就職支援

日本での就職を目指す留学生(当財団の奨学生、奨学生 OBOG)を対象に個別相談等の就職サポートを行いました。

Ⅳ. 国際交流活動への支援(継続事業3)

■日本語体験コンテスト(大韓民国)

大韓民国の高校生を対象として、1 週間にわたり日本の東北の教育機関(大学・専門学校・日本語学校 2 か所以上)、文化施設/地域名所を訪れ、その内容を日本語を使って取材し、その成果を SNS で紹介する企画を募集しました。

入賞者には体験取材の費用として 1 名あたり 20 万円の賞金が支給され、体験取材を通して日本への理解を深め、日本での進学、就職の夢への第一歩を踏み出すための支援を行いました。

開催日	事業名	応募者	入賞者
2024 年 6 月 29 日	第 27 回「日本語体験コンテスト in 東北(6 県)」	23 名	9 名

■日本語体験コンテスト(7 か国)

日本語教育機関で勉強している学生を対象にしたスピーチコンテスト「日本語体験コンテスト」は、ミャンマーを除く 6 か国で開催されました。

入賞者には「夢・日本体験賞」として日本体験旅行(2024 年 12 月 8 日～15 日)に参加する権利が与えられ、実際に日本での生活や文化を体験することで、日本への理解を深め、日本留学の夢への第一歩を踏み出すための支援を行いました。

開催日	事業名	応募者	入賞者
2024 年 8 月 4 日	第 17 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」	67 名	5 名
2024 年 8 月 6 日	第 12 回「日本語体験コンテスト in プノンペン」	90 名	5 名
2024 年 8 月 8 日	第 12 回「日本語体験コンテスト in バンコク」	104 名	5 名
2024 年 8 月 23 日	第 11 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」	67 名	5 名
2024 年 8 月 25 日	第 10 回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」	68 名	5 名
2024 年 9 月 21 日	第 22 回「日本語体験コンテスト in 成都」	76 名	5 名
—	第 14 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」	政情不安の影響 により中止	

■研修会

留学生・日本人学生を対象とした研修会を北海道・沖縄で開催し、ホームステイプログラムや自然とのふれあいを通して参加学生に日本の歴史や生活文化を学び、日本をより深く理解する機会を提供しました。また、参加学生同士の国際的な友好の輪を広げる一助にもなっています。

開催日	事業名(協力団体名)	参加者
2024 年 9 月 2 日～6 日	2024 年 9 月 北海道 鶴居村・釧路研修会 (株式会社丘の上のわくわくカンパニー)	20 名
2024 年 9 月 9 日～14 日	2024 年 9 月 沖縄県・東村研修会 (NPO 法人東村観光推進協議会)	40 名
2025 年 2 月 16 日～20 日	2025 年 2 月 北海道・函館研修会 (一般財団法人北海道国際交流センター)	7 名
2025 年 2 月 24 日～28 日	2025 年 2 月 北海道 鶴居村・釧路研修会 (株式会社丘の上のわくわくカンパニー)	20 名
2025 年 3 月 3 日～8 日	2025 年 3 月 沖縄県・伊江島研修会 (一般社団法人伊江島観光協会)	10 名

V. 日本語教育施設の設置及び運営

カンボジアのシェムリアップに設立した合弁会社 Hikari-Kyoritsu International School co.,Ltd において、日本語教育を実施しました。

VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、学生寮の運営を行いました。

物件名	所在地	室数
つつじが丘男子学生会館 ▶株式会社共立メンテナンスに管理委託	東京都調布市	56 室
学習奨励寮 ▶株式会社共立メンテナンスから一括借上げ	全国 7 地域	650 室
ドーミー相模大野(旧名称:相模大野学生会館) ▶株式会社共立メンテナンスとサブリース契約	神奈川県相模原市	121 室

事業報告附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の内容である「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特段存在しない。

令和 7 年 6 月
一般財団法人共立国際交流奨学財団